

東海支部 令和7年度 油化学講演会（Y K講演会） 開催報告

日本油化学会東海支部・三重大学 岡崎隆男

東海支部では令和7年6月20日（金）に三重大学と辻製油株式会社で、（一財）油脂工業会館様とのご共催で、油化学講演会（Y K講演会）を開催しました。今年度は「油脂とサステナビリティ」をテーマに、3名の講師を迎えて基礎研究、応用研究、商品開発についてお話しいただくとともに、辻製油株式会社の工場を見学しました。当日は22名の参加者が集まり、質疑応答が活発に行われる有意義な会となりました。

講演1 「フードシステムにおけるマルチバンド光放射応用とその展開」

三重大学大学院生物資源学研究科 橋本 篤 氏

講演2 「持続可能な社会に向けて 非可食油ひまし油の特性と応用」

伊藤製油株式会社 前田 和磨 氏

講演3 「未利用木質バイオマスからのエネルギー生産とその利活用」

辻製油株式会社，辻 H&B サイエンス研究室 籠谷 和弘 氏

まず講演1では、橋本氏により食品原料およびそれらを起点として生産される加工食品の網羅的かつ総合的な特徴量（表現型）に着目した光センシング手法、および食品の新規加工技術について、基礎から最新の研究まで紹介されました。

続く前田氏の講演では、伊藤製油株式会社の事業紹介がありました。非可食性であるひまし油の製油と誘導体合成の技術について解説していただきました。プラスチック添加剤とインキとしての応用例や持続可能な社会に向けた取り組みが紹介されました。

籠谷氏の講演では、辻製油株式会社の事業紹介がありました。三重県南部の森林育成管理や加工で発生する未利用木質バイオマスを用いて、松阪木質バイオマス熱利用協同組合で蒸気熱エネルギーの生産し、辻製油株式会社本社工場での食用油製造とうれし野アグリでのトマト生産に利用しています。

講演会後は、三重大学オープンイノベーション施設にある辻 H&B サイエンス研究室を見学しました。その後、バスで辻製油株式会社を訪問し、会社概要と製品について説明を受けたのち、松阪木質熱利用協同組合と辻製油本社工場の製油生産を見学しました。そして、排熱を利用したうれし野アグリトマト施設園芸ハウスで栽培現場を見学しました。同社のサステナビリティの取り組み状況について紹介いただきました。

以上の講演と工場見学を通じて、油脂とサステナビリティへの理解を深めることが出来ました。最後になりましたが、本講演会ではご共催いただいた（一財）油脂工業会館様をはじめ、複数施設の見学・ご案内など多大な協力をいただきました辻製油株式会社様ならびにご講演いただきました先生方に重ねて御礼申し上げます。



講演会場風景



うれし野アグリ(トマト施設園芸ハウス)